

発寒ひかり  
保育園だより

2023年  
4月号

巻頭言

コロナ禍もようやく少し落ち着きを見せ始め、保護者2名での参加ではありましたが、無事に卒園式を行うことができました。子どもたちは、ちよっぴり照れながらも、しっかりと証書を受け取り、歌や手話の発表も自信をもって行う姿はとても素敵でした。24名(年度の途中で地方へ引越をした園児1名も会場横で一緒に参加。合計25名)の子どもたちが小学校へ巣立ちました。

また、小・中・高校と卒業式の後に、卒園児たちがそれぞれ保育園に顔を出してくれました。一段と成長し、身長も抜かされてしまう子が大半。身体だけではなく、何だかすっかりお兄さん・お姉さんになっている事が印象的でした。卒園をしても、保育園へ顔を見せに来てくれる事は、本当に嬉しい事です。

卒園した子どもたちは、新しい世界へと入っていきます。様々なことに挑戦したり、新しい事を学んだり、楽しい経験をしたり……。しかし、それだけではなく、時には悔しい思いや、どうしていいのか途方にくれたり、人との関わりにつきまじったりすることもあるかもしれません。そんな時、「ちよっと保育園に行ってみようかなあ」と思ってもらえたらと強く思います。今年度は、コロナ禍でお休みしていた「お兄さん・お姉さん先生」も時期を見ながら再開する予定です(開始する際、改めてお知らせいたします)。在園児や職員とのとの関わりの中で、ほっ……と出来る時間にもなることができれば……。在園の子どもたちはもちろん、卒園した子どもたちにとっても「心の基地」になる事ができるよう、今年度も職員一同心を込めて保育を行っていききたいと思います。

園長 阿部 尚子